

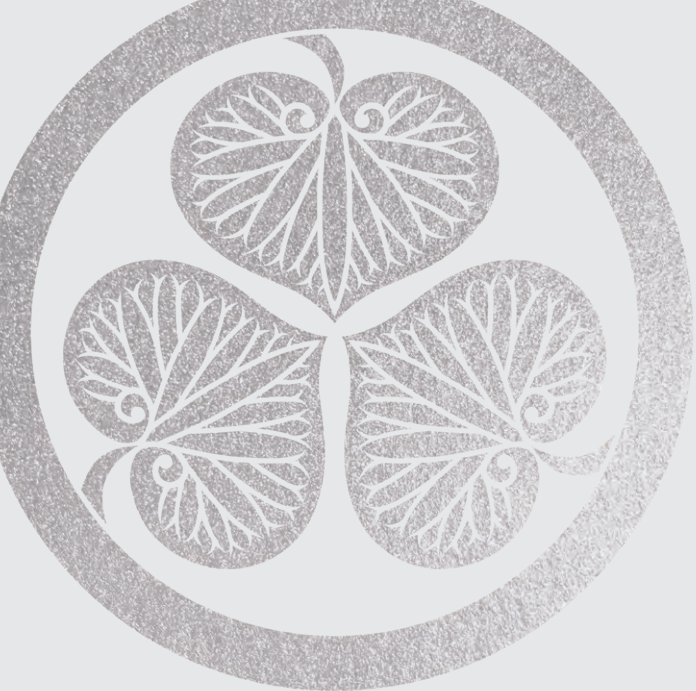
特別展

# 名刀正宗と相模伝

Special Exhibition

## Splendid Swords: Masamune and the Sagami Tradition

- 開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日／月曜日(但し、7月18日(月・祝)は開館、翌19日(火)は休館)
- 観覧料／一般1,400円/高大生700円/小中生500円 ※土曜日は高校生以下入館無料  
※20名様以上の団体は一般1,200円/高大生600円/小中生400円
- 主催／徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・読売新聞社 ■協力／名古屋市交通局



2022年

5月28日[土]ー

7月18日[月・祝]

企画展  
大名の  
冠・婚・葬・祭



Thematic Exhibition

Kan - Kon - Sō - Sai:

Traditional Ceremonies to Celebrate Life and Honor Death in the Daimyo Household

徳川美術館

THE TOKUGAWA ART MUSEUM

TEL (052)935-0262 FAX (052)935-0261

蓬左文庫

HOSA LIBRARY, CITY OF NAGOYA

TEL (052)935-2173 FAX (052)935-2174

〒461-0023 名古屋市東区徳川町

特別展

# 名刀正宗と相模伝

# 大名の冠・婚・葬・祭

企画展

日本刀の代名詞とも称される「正宗」。鎌倉時代、相模国の刀工である正宗は、明るく輝く地鉄に沸主<sup>わかぬま</sup>主体の躍動的な刃文を表す作風を完成し、後世に大きな影響を及ぼしました。室町時代の武家社会においては將軍へ献上するに相応しい刀工とされ、戦国時代には織田信長や豊臣秀吉が正宗の刀剣を愛好したことにより、正宗の評価はさらに高まり、江戸時代にはその価値が不動のものとなりました。

本展覧会では刀剣の受容の歴史を紐解きながら、尾張徳川家に伝来した正宗と相模伝の名刀をご紹介します。※会期中展示替えがあります。



国宝 短刀 無銘 正宗 名物 庖丁正宗 徳川家康・徳川義直(尾張家初代)ほか所持



短刀 無銘 貞宗 名物 奈良屋貞宗 奈良屋宗悦・豊臣秀吉・徳川秀忠(2代將軍)ほか所持



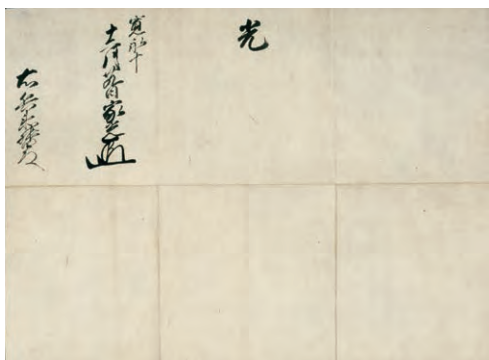
重要文化財 脇指 無銘 貞宗 名物 物吉貞宗 徳川家康・徳川義直(尾張家初代)ほか所持



黒塗白糸威具足 徳川綱誠(尾張家3代)・義宜(同家16代)着用▶

人は生まれてから生涯を終えるまでの間、誕生や成長・成人・結婚や葬儀といったさまざまな人生の節目における儀礼を経験します。一口に「冠婚葬祭」とも呼ばれるこれらの通過儀礼は時代や身分によっても異なります。江戸時代の大名家においても、数多くの通過儀礼が行われ、このなかには、家督相続後初めて將軍へ御目見えする、大名ならではの儀礼も含まれていました。

本展覧会では、大名家において行われたさまざまな儀礼を、尾張徳川家の伝来品を中心に紹介します。※会期中展示替えがあります。



徳川家光一字書出 徳川光義(光友・尾張家2代)宛



徳川直七郎(齊温・尾張家11代)宮参り行列図 二巻の内(部分)

表面の作品 ●重要文化財 刀 金象嵌銘 正宗磨上 本阿弥(花押) 名物 池田正宗 伊達政宗・池田長吉・徳川秀忠(2代將軍)ほか所持  
●花色地蔓葵紋付子持筋熨斗目 徳川綱誠(尾張家3代)・吉通(同家4代)着用

※所蔵は全て徳川美術館蔵

## 土曜講座

- ①「尾張徳川家の正宗・貞宗」  
学芸員 安藤香織
- ②「尾張徳川家の殿様になる」  
学芸部マネージャー 並木昌史

日時 ① 6月4日(土) ② 6月11日(土)  
各午後1時30分～午後3時(開場:午後1時)

定員 各60名  
事前申込制ですすでに満席/空席がある場合のみ当日受講可

会場 講堂  
受講料 各800円(入館料別途必要)

## 学芸員の推しトーク

担当学芸員がここでポイントやこだわりポイントをお話します。

- ①「名刀正宗と相模伝」
- ②「大名の冠・婚・葬・祭」

日時 ① 5月29日(日) ② 6月19日(日)  
各午後2時～2時30分(開場:午後1時30分)

定員 各60名 当日会場にて先着順・入館者聴講自由  
会場 講堂

※各イベントの詳細はホームページにてご確認ください。



〒461-0023 名古屋市中区徳川町

- 基幹/バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
- メーグル「徳川園・徳川美術館・逢左文庫」下車
- JR中央線「大曾根駅」下車南口より徒歩10分